

# 熊本県人教「進路保障（就労）研修会」

すべての子どもたちの就労保障をめざして

「全国高等学校統一応募用紙」制定の趣旨徹底をはかり差別のない採用選考を実現するために

主催 熊本県人権教育研究協議会 後援 熊本県教育委員会 部落解放同盟熊本県連合会  
期日 2026年6月30日(火)  
場所 熊本市国際交流会館ホール 熊本市中央区花畑町4番18号  
対象 高等学校等及び中学校の進路指導主事・最終学年関係者、保幼・小・中・高校等の教職員、人権・同和教育主担者、人権教育主任等、市町村教育委員会職員、隣保館職員等、進路保障についての学習に関心のある方々

資料代 2,000円  
日程

9:30 10:00 10:30 12:00 13:30 13:45 14:15 14:45 15:00 16:10 16:30

受付	開会行事	講座Ⅰ	昼食	基調提案	講座Ⅱ	講座Ⅲ	休憩	講座Ⅳ	まとめ
----	------	-----	----	------	-----	-----	----	-----	-----

講座Ⅰ「進路保障とは何か」 —その歩みと課題—

講師 熊本県人権教育研究協議会 顧問  
吉田 文男 さん

講座Ⅱ「人権尊重の視点に立った進路指導について」 高校教育課より

講座Ⅲ「新規高卒者の職業紹介状況と公正な採用選考について」 熊本労働局より

講座Ⅳ「採用選考問題事案について・学校での取り組みについて」熊本県人教・高校より

## 講座Ⅰ「進路保障とは何か—その歩みと課題—

講師 吉田 文男さん プロフィール

1965（昭和40）年、同和対策審議会答申が出された年に大学入学。1969（昭和44）年、同和対策事業特別措置法（「同対法」）が制定された年に教師になる。初任の地、天草での教師生活7年（中学校2年）を経て、1976年4月、牛深高校から鹿本農業高校に赴任。この年初めて熊本県の高校11校に同和教育推進教員が配置された。翌年、鹿本農業高校にも同和教育推進教員が配置されることになり、初代推進教員となる。鹿本の地で初めて同和教育や部落解放運動と出会い、そして来民開拓団と出会い、今日に至る。その間、熊本県同和教育研究協議会事務局に二度出向、主に進路保障を担当する。1988（昭和63）年には、「赤き黄土—地平からの告発来民開拓団—」の編纂に携わる。その後、1996（平成8）年、熊本工業高校定時制に転出。14年間の熊工定時制勤務を経て、2010（平成22）年3月に41年間の教師生活を終える。退職後熊本県人権教育研究協議会事務局並びに熊本県部落解放研究会事務局長を務め、その後熊本県人権教育研究協議会事務局長を兼務。現在は熊本県人権教育研究協議会顧問として活動を続けている。

## 【参加申込】

下記申込に記入し、FAX（送信票は不要）か、e-mailで6月16日（火）まで。

<宛先> 〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目3-7 熊本県建築士会館5階  
熊本県人権教育研究協議会 進路保障担当 行

FAX：096-384-5453 e-mail：hurights@kenjinkyo.jp

## 「進路保障（就労）研修会」参加申込

ご所属<

>

	参加者名	ご担当	備考
1			
2			
3			
4			
5			

本研修会は、熊本市並びに熊本市国際交流会館のガイドラインに沿って運営いたします。  
同意事項 ○必要に応じて実施する感染症等への対策に協力します。

※ 申し込みをされた時点で上記同意事項に同意されたものとみなします。